

『きんぎょが にげた』



ごみ たろう 作
福音館書店

「きんぎょがにげた、どこへにげた？」
逃げ出したきんぎょは、カーテン、花、キャンデーにまぎれてかくれんぼ。
かくれたきんぎょをあかちゃんといっしょに探してみてください。だんだん難しくなりますよ。

『きゅっ きゅっ きゅっ』



はやし あきこ 作
福音館書店

あかちゃんが、ぬいぐるみの動物たちと一緒にスープを飲んでいます。ねずみさんやうさぎさんが、おなかや手にこぼしたスープを「きゅっきゅっきゅっ」とふいてあげるあかちゃん。生活の中の身近なできごとがテーマです。

『ねないこ だれだ』



せな けいこ 著
福音館書店

夜遅くまでおきているのはだれですか？どろぼう？いえいえ…こわいおばけ。夜はおばけの時間です。ねない子をおばけにして夜の空へつれて行きます。

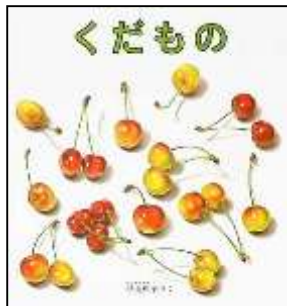
おはなしは、少しこわいけれど、切り絵のタッチが柔らかで、おばけもほのぼのした感じにみえます。

絵本で赤ちゃんとお楽しみひと時を

だっこして ごほん よんで

- *赤ちゃんゆったり楽しい時間を過ごしましょう。
- *本を読んであげるのではなく、赤ちゃんが絵本を通じて愛情いっぱい言葉とぬくもりを感じることが大切です。
- *0~2才の赤ちゃんとおうちの方におすすめするものです。
- *図書館にも赤ちゃん向けの絵本を用意しています。

『くだもの』



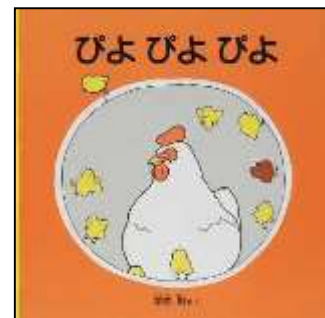
ひらやま かずこ 作
福音館書店

「うわーおいしそう！」と思わず言いたくなる絵本です。

表紙のさくらんぼから、すいか、もも、そして最後にバナナでおしまい。

「ごちそうさま！」で終わりたい絵本です。

『ぴよ ぴよ ぴよ』



ひらの たけし 作
福音館書店

ひよこたちが、「ぴよ、ぴよ、ぴよ」とかけていきます。それに気がついた黒い子猫が、そっと忍び寄りますが、ひよこたちのさきには、お母さん鶏がいます。子猫は、ちょっとさびしくなりお母さん猫のところへもどります。繰り返されるひよこたちの鳴き声と動きが楽しい1冊です。

『いない いない ばあ』



まつたに みよ子 文
せがわ やすお 絵
瀬川 康夫 絵
童心社

あかちゃんの大好きな遊び「いないいないばあ」。ページをめくると、それぞれの動物が「いないいないばあ」をします。そしてさいごに、あかちゃんが「いないいないばあ」。おひざで読んであげたい絵本の一冊です。

習志野市には、4つの図書館があります。紹介した絵本のほかにもいろいろな本があります。

お近くの図書館までぜひどうぞ。

中央図書館：京成大久保駅徒歩2分

047-475-3213

東習志野図書館：京成実籾駅徒歩10分

047-473-2011

新習志野図書館：京葉線新習志野駅徒歩7分

047-453-3399

谷津図書館：京成谷津駅徒歩10分

047-471-2072

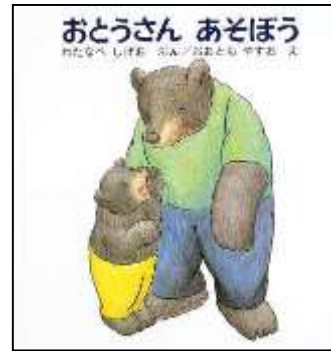
『たまごのあかちゃん』



かんざわ としこ 文
神沢 利子 文
やぎゅう げんいちろう 絵
柳生 弦一郎 絵
福音館書店

「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃん
はだあれ?でておいでよ」
たまごの中からどんなあかちゃんがでてくる
のでしょうか。「はあい」とお返事したくなるかも
…。

『おとうさん あそぼう』



わたなべ しげお 文
渡辺 茂男 文
おおとも やすお 絵
大友 康夫 絵
福音館書店

くまくんがおとうさんと遊んでいます。“たか
いたかい”“かたぐるま”、ごほんも読んでもら
います。最後は仲良く、ぐうぐう、すうすう。

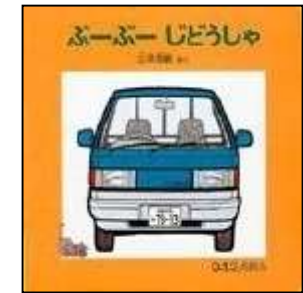
『でんしゃ』



バイロン・バートン 作・絵
金の星社

いろんな電車がお客さんを乗せたり、貨物
列車が荷物を運んだり…。
電車やお客さん、駅の1日の様子が描か
れています。はっきりとした色使いと力強い輪
郭があかちゃんを引きつけます。

『ぶーぶー じどうしゃ』



やまもと ただよし 作
山本 忠敬 作
福音館書店

消防自動車、ごみ収集車、バスなど、町で見
かける身近でなじみ深い自動車が、正確な描
写で画面いっぱいに現れます。
おもちゃの自動車にのった小さな男の子が案
内役です。

『がたん ごとん がたん ごとん』



あんざい みずまる 作
安西 水丸 作
福音館書店

「がたん ごとん がたん ごとん のせてくださ
ーい」
お客さんが次々乗ってきます。
「がたん ごとん がたん ごとん しゅうてん
でーす みんな おりてください」
繰り返しの言葉が楽しい絵本です。

『あがりめ さがりめ』



まし ま せつこ 作
真島 節子 作
こぐま社

お父さん、お母さんもどこかで聞いたことの
あるあそびうたの本です。
ぜひあかちゃんに歌ってあげてください。
あそびうたの絵本はこの他に同じ作者の『あ
んたがたどこさ』もあります。

『もう おきるかな』



まつ の まさこ 文
松野 正子 文
やぶうち まさゆき 絵
藪内 正幸 絵
福音館書店

今にも絵本の中から飛び出てきそうな本物
そっくりの動物たち。
おひるねでもしているのでしょうか?
「もうおきるかな?ああ、おきた!」
動物の親子の微笑ましい絵本です。

『もこ もこもこ』



たにかわ しゅんたろう 作
谷川 俊太郎 作
もとなが さだまさ 絵
元永 定正 絵
文研出版

青い空、紫の地面の静かな世界。とつぜん「も
こ」と地面が盛り上がり「もこもこ」と大きくなり
ます。となりからは「によき」とまたまた不思議な
ものが…。この絵本に出てくるのは、擬音語とシ
ンプルで力強い図形的な絵だけですが、あか
ちゃんから小学生まで夢中にさせてしまう絵本
です。